

「森ノ宮柔道整復卒後研修会 論文集 No.2」発刊

森ノ宮柔道整復卒後研修会

「森ノ宮柔道整復卒後研修会」は、卒業生を中心とした会員発表や、講師の先生による講演を通して技術と知識の研鑽はもとより、会員相互の情報交換を目的として発足し、今年で5年目を迎えます。

本年度も、これまで開催してきました研修会の実績を論文集として残していくべく、「森ノ宮柔道整復卒後研修会 論文集 No.2」を発刊いたします。会員による論文に加え、19年度卒業論文から特に興味を引く2題を掲載しております。

有益な情報満載の論文集を多くの方にご活用いただければと考えております。論文集希望、入会についてのお問い合わせは、下記担当までお願いいたします。

☆問い合わせ先

担当：教務部 柔道整復学科 外林、伊黒

☎ 06-6976-6889

E-mail : sotuken@morinomiya.ac.jp



森ノ宮柔道整復卒後研修会主催

「第1回 森ノ宮柔道整復学術集会」 5月11日、開催決定！

柔道整復学科が設立されて8年が経過します。卒業生を中心に発足した森ノ宮柔道整復卒後研修会を開催してきましたが、これまで積み重ねてきた成果を学術集会という形で発展させ、学術の向上と情報交換の場の拡大を目指して、「第1回 森ノ宮柔道整復学術集会」を実施することになりました。

会員の発表に加え、教育講演も予定しており、森ノ宮医療学園専門学校と卒業生、さらに在校生との情報交換の場としてはもちろん、卒業生の研究内容や、貴重な臨床経験を聞くことのできるよい機会です。また、本集会を通じて、森ノ宮医療学園の発展、柔道整復業界全体の発展に貢献して行きたいと考えております。卒業生に限らず、在校生からも多くの方の参加をお待ちしております。

開催日程：2008年5月11日(日)

時間：11:00～15:00

会場：森ノ宮医療学園専門学校7階講堂

参加費：会員・卒業生1,000円、一般3,000円、学生無料

◆教育講演

「TFCC（三角線維軟骨複合体）損傷（仮）」

関目病院リハビリテーション科リハビリ担当主任 大森淳次先生

「後療法について考える（仮）」

森ノ宮医療学園専門学校 柔道整復学科 川畑浩久先生

☆問い合わせ先 担当：教務部 柔道整復学科伊黒、外林

☎06-6976-6889 E-mail:sotuken@morinomiya.ac.jp

東洋療法学校協会第29回学術大会で小林英恵さんが発表

去る10月11日、(社)東洋療法学校協会 第29回学術大会（メインテーマ：統合医療—新たな医療を目指して—）が吹田メイシアター（大阪・吹田市）で行われ、森ノ宮医療学園専門学校鍼灸学科夜間部3年生 小林英恵さんが研究成果を発表しました。

タイトルは「鍼灸施術が月経困難症や月経周期に及ぼす影響—スポーツ選手の基礎体温を指標として—」。小林さんはこの発表に向けて、松下美穂先生の指導の元、女性アスリートにとって避けて通れない月経と鍼灸の関係を明らかにしようと、スポーツ選手を対象にデータを収集するなど研究を続けてきました。その成果に、本学生はもとより他校の学生も熱心に聞き入っていました。



だんじり祭りだ！いざ出陣!?

10月7日、岸和田だんじりを前にはっぴとぼっち、地下足袋に鉢巻き姿の中村允之先生（大学准教授・専門学校講師／左）、外林大輔先生（専門学校柔道整復学科教員／右）。外林先生はテーピングでもバックアップ！

